

年の瀬もゆとり気配り交通安全

12月11日
～12月20日
冬の交通事故防止運動



十二月十一日から二十日までの十日間、冬の交通事故防止運動が行われます。

年末が近づくと、人や車の動きが慌ただしくなり、冬型の気候や飲酒機会の増加などにより交通事故の増加が予想されます。

一人ひとりが交通ルールを守り、正しい交通マナーを実践して事故を起こさないよう、遭わないようにしましょう。



交通安全協会関川支部女性部、下関交番、上野新駐在所では毎年、冬の交通事故防止運動にあわせて村内の飲食店を巡回。飲酒運転根絶のリーフレットやポスターを配布し、飲酒運転根絶を呼びかけています。
(写真は昨年行われた巡回のようす)

運動の 重点目標

1 飲酒運転

の根絶

飲酒運転等に対する罰則強化から一年！

昨年九月十九日、悪質・危険運転の罰則強化等を中心とする改正道路交通法が施行されました。厳罰化から一年が経過しましたが、いまだに飲酒運転による交通事故が後を絶ちません。

飲酒運転は重大な犯罪であるとの認識のもとに、「飲酒したときは絶対に運転しない、させない」という強い信念を持ちましょう。

2 高齢者の

交通事故防止

一般運転者は

高齢の歩行者や自転車乗り等を見たら動静を注視するほか、早めに減速するなど、「思いやりとゆとりのある運転」を心がけましょう。

また、夕暮れ時には、早めのライト点灯と上向き走行を活用して歩行者の早期発見に努め、交通事故を未然に防ぎましょう。

高齢歩行者は

道路横断中は交通事故に遭う危険性が高くなります。左右の安全確認を十分にしてください。余裕を持った横断を心がけましょう。また、夜間外出するときは、夜光反射材を身につけるとともに、明るい色の服装を心がけ、交通事故から身を守りましょう。

3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシート

の正しい着用の徹底

運転者は

今年六月一日から全ての座席でシートベルトの着用が完全義務化されました。

「乗ったなら前も後ろもすべると」を合言葉に、運転手自身はもちろん、同乗者全員にシートベルト、チャイルドシートを着用させましょう。

後部座席同乗者は

平成十九年中の県内において、後部座席乗車時に六人の方が亡くなり、うち四人の方がシートベルトをしていませんでした。

交通事故による衝撃は、どの座席も同じです。「面倒だから」「すぐ近くだから」という気持ちで捨て、全座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しましょう。

トキが関川村に やって来た!!



11月8日午前10時30分ころ、関川村で確認されたトキ
写真提供：宮越一俊さん(村上市)

11月2日頃から村内各地で目撃情報のあった放鳥トキが、11月8日、関川村北部の休耕田で確認されました。

トキは、9月25日に野生復帰のために佐渡市から試験放鳥されたトキ10羽の中で、行方が分からなかった2羽のうちの1羽。環境省が写真で確認したところ、足環の色がピンクと黄色という組み合わせから、個体番号3のメス(2005年生まれ)と判明しました。

佐渡市の放鳥場所から関川村までは海を渡って約100km。本州で野生状態のトキが確認されたのは、1970年(昭和45年)に石川県能登半島で捕獲されて以来38年ぶりのことです。



関川村を飛ぶトキ
写真提供：宮越一俊さん(村上市)

みんなで温かく見守りましょう

1. トキをやさしく静かに見守りましょう
双眼鏡などで遠くから静かに観察しましょう。
2. トキに餌付けをしないようにしましょう
トキは野生動物です。餌を与えるのではなく、餌が豊富な自然環境をつくりましょう。
3. トキを観察するときは地域に迷惑をかけないようにしましょう
観察するときは、無断で私有地や農地に立ち入らないでください。

もうじき冬本番!! スタッドレスタイヤへの 交換はお早めに!!

スタッドレスタイヤの基礎知識

そもそも氷上で滑りやすい原因は?	なぜスタッドレスは氷上で滑りにくい?	雪上にも強いのはなぜ?
		
凍結した路面でスリップしやすいのは、氷上に弾く滑った「水膜」が原因。この水膜がタイヤと氷の間に入りこむことで、滑りやすくなるのだ。	理由は主に3つ。①この水膜を除去する細かい溝が刻み込まれている。②柔らかいゴムが低温時も凹凸路面に密着。③水をひっかく溝材をゴムの中に配合。	複雑な形状の深い溝に、雪を踏み固めてしっかりと噛ませて牽力を増やすこと(せん断効果)で、雪上でも滑りにくくしている。

スタッドレスタイヤへ早めに交換が安心!

雪が降る前に早めの交換をオススメする理由

- ① 雪が降ってきても安心だから
天候の急変で急に雪が降り始めても、スタッドレスを履いていれば慌てずに済む。
- ② 雪が降ってなくても路面は凍結するから
降雨の後に気温が下がれば路面は凍結する。この時もスタッドレスなら問題をなし!
- ③ 在庫が豊富で遅延が少ない
雪が降るとお店は混雑して、長時間待たされることも。また、在庫切れのことも多い。



スタッドレスタイヤは雪上や氷上だけでなく、凍結した路面でも走ることができるので、雪が降る前に早めに交換しておこう。

スタッドレスタイヤに交換する時はココをチェック!

1. タイヤの「溝」はOK?
スタッドレスは残り溝 50%で交換
スタッドレスタイヤは溝の深さが新着時の50%厚耗したら、冬用タイヤとして使うことができない。使用後は、タイヤサイドの「!」標印のトレッド(接地面)にあるプラットフォームが露出するまで。

2. タイヤの「空気圧」はOK?
適正空気圧を確認しておこう
夏場に使用しなかったスタッドレスタイヤは、自然に空気が抜けていることも考えられる。空気圧が低いままだと磨耗が悪化し、本来の性能を引き出すことができない。ガソリンスタンドやタイヤショップで交換してもらおう。
指定空気圧は運転席のドアを開けた内側に書いてある(一読願)。

3. タイヤの「硬さ」はOK?
硬くなったら効きが低下
スタッドレスは古くなるにつれてゴムが硬くなって、十分な性能が得られない。「硬さ計」のあるお店で点検してもらおう。


ココもチェック!
タイヤの「製造年月」
2405
タイヤがいつ作られたのかは、実はタイヤサイドに4ケタの数字で書いてある。下2ケタが製造年、上2ケタが第何週目に製造されたかを表しており、たとえば写真の「2405」の場合、2005年の第24週目(6月5〜11日)に作られたということになる。